

インクカートリッジ回収は地域との懸け橋

就労B型 新田 浩史

インクカートリッジ回収・仕分事業は大阪府工賃向上計画支援事業の一環で、福祉作業所などで働く障がいのある人たちの働く機会を支援する事業として、平成21年2月から始まりました。

インクカートリッジの回収が工賃のアップにつながることで、地域の人たちや市内の保育所、幼稚園、学校(各種学校)、企業等様々な事業所に回収ボックスの設置をお願いし、現在では市内30か所を超えるまでになりました。

初めは「みらいです。インクカートリッジの回収に来ました。」「お疲れさん、ご苦労様。」といった言葉のやり取りのみでした。何処となくごちない受け答えが時間の経過と共に様々な人たちの支援を受けながら地域で共同生活をしているのだと肌で感じられるようになりました。

同じ地域の仲間という意識や資源の再利用という環境問題への意識など大切にしていかなければならない多くのものを担当者として強く感じています。

本事業は、今年度初めに前協力企業の撤退という事もあり、継続が危ぶまれましたが、この9月から新たに株式会社エコーリカ様と連携を図り、再スタートすることになりました。これからも引き続きインクカートリッジ回収事業に取り組んでまいりますので、皆様方のより一層のご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



「地震発生に備えて」防災訓練を実施!

生活介護 横山 直哉



8月28日(水)午前中、「地震発生に備えて」をテーマに防災訓練を実施しました。

今回は普段の訓練とは異なり、全員食堂に集まり消防署よりお借りした地震映画の鑑賞から始まり、その後実際に避難訓練する形式です。

映画鑑賞後、全員が「緊急地震速報受信しました」の館内放送で机の下に避難したり、スタッフが避難経路のドアの開放に向かうなど、本番さながらの訓練になりました。参加者からは「ほんまの地震になったら嫌やなあ」「ドア開けるとかなあかな」等、色々な声が上がっていました。訓練の最後に榊川主任から「本物の地震や火事の時も今日のように避難しましょう」等の講評があり、無事訓練を終了しました。

◆ご寄付

- 空き缶回収売り上げ
7月～9月 55,172円
- カートリッジ回収売り上げ
7月～9月 4,250円



(編集担当一同)

ご支援ご協力、有難うございます

● 編集後記 ●

台風一過 秋も深まり、冬の気配さえ感じられる頃となりました。

個別支援計画の見直しもようやく終わり、ほっと一息をついているところです。下半期も利用者の皆さんのそれぞれの思いや願いを大切に、目標の達成に向けてスタッフ一同頑張りたいと思っております。

『スポーツフェスタ2013』開催 (10月4日)



↑みんなで整列して、開会式の始まりです!

今年のテーマは「ゴーゴー! みんなの親和会!!」です。みんなで団結し、楽しく盛り上げようという思いが込められています。今回のスポーツフェスタでは「シンボルマーク作り」「お掃除大作戦!」「宝を探せ!大冒険!!」という新しい競技種目を入れました。その他の試みとして「実況アナウンス」を取り入れました。利用者の皆さんが、元気に楽しく笑顔で競技をされているのを間近かに見てとても嬉しく思いました。

今年も大勢の方にご来場いただき、誠にありがとうございました。

生活介護 岡部 真由美



↑最後はみんなで輪になって一緒に踊りました。



↑玉入れ。赤も白も頑張りました!



広報みらい

第30号



編集・発行

社会福祉法人 豊中親和会 多機能型事業所みらい

発行人

吉田耕治

住所

〒561-0894 豊中勝部2丁目19-3

TEL

06-6858-6697

FAX

06-6858-6698

食育講習会を行いました。(9月26日(木))

せいかつかいご さしざわ よしひこ
生活介護 指澤義彦



今年度の食育講習会はテーブルマナーについて行いました。正しく、楽しく給食を摂取することを目的とします。マナーの中で特に配膳の仕方、食べ方、食べる時の姿勢などをクイズ形式で行い、利用者のみなさんにとって楽しくかつ分かりやすく勉強できたと思います。

配膳のクイズでは、おわん、お汁、主菜、副菜、お箸の置き方をグループで考え、正解ができたグループから早抜けのクイズで競争しました。何度かやり直しをして全グループが正解できました。

次にスタッフが演技した食べ方と食べる時の姿勢を、〇×形式のクイズで出した問題では「何処が違っているのか」、「正解なのか」を楽しく答えていただけました。

今回の食育で学んだテーブルマナーを通じて、正しい摂取の仕方を学び、今後さらに楽しい給食を提供できればと考えております。

「障害児・者施設課程」講座(通所コース)の研修に参加して

就労B型 井川 賀友

平成25年8月1日と22日の2日間、大阪府社会福祉協議会主催の「障害児・者施設課程」講座の通所コースの研修に参加させていただきました。

テーマは「障害分野の法律の変遷と事業所の課題」「権利擁護の視点を学び、日頃の支援を振り返る」また、「支援スタッフの専門性とは何か?」でした。

他の施設との交流があり、利用者さんへの支援方法について話し合いました。

利用者さんが楽しく作業ができ、楽しく過ごせるようにはスタッフの気持ちが大切であると痛感しました。

「新任職員研修」に参加して

就労B型 松本 賢

7月23日、8月29日、9月26日の3回にわたって、大阪知的障害者福祉協会が主催する「新人職員研修」に参加しました。

福祉の現場に入職して概ね5年までの職員を対象とし、テーマは「対人援助の携わる支援者としての基本姿勢」「人権意識の向上」そして「援助技術」などでした。始めに講師が対人援助に答えはないと言われましたが、その中で専門職としての誇りを持って日々勉強していくことの大切さや、職員間で情報を共有するために、報告・連絡・相談を常に意識することを怠ってはならない事など勉強になる事が多々ありました。

芸術鑑賞会に行ってきました。

せいかつかいご よこやま なおや
生活介護 横山 直哉

まだまだ暑い9月6日(金)、みらいバスでTOHOシネマズ伊丹に芸術(映画)鑑賞に行ってきました。当日はそれまで続いていた曇天ではなく「楽しい一日」を思わせる様な青い空が広がっていました。

映画開演時間の都合からイオンモールにあるフードコートで全員で昼食。色々なお店があり、ラーメンや丼、オムライスなど好物を各自選ばれ、支払いも各自でされました。

映画は「ガッチャマン」で12:10スタート。

実写版でわかり易いようでした。見終ってから「大きな音やった」「面白かった」等々の声があがり、それと共に「美味しかった」との声もあり、楽しい一日を過ごしました。



はじめまして。

8月1日より就労継続支援B型事業でお世話になっております。

慣れない支援や作業に悪戦苦闘することもあります。利用者の皆さんの笑顔で救われる毎日です。

明るく元気なみなさんと共に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

社会見学：神戸港震災メモリアルパーク

しゅうろうがた まつもと さとし
就労B型 松本 賢

いつ起こるかわからない震災の恐ろしさを実感し、安心・安全について考える機会にしようとして、9月20日(金)、神戸メリケンパークにある神戸港震災メモリアルパークに行ってきました。

その中にある「保存ゾーン」では、メリケン波止場の被災の一部が保存してあり、当時の港湾の被災状況の凄まじさや恐ろしさを生々しく感じ取ることができ、皆さんもジーっとモニュメントを見つめておられました。その後、神戸ポートタワー下のお店で昼食をとり、気分一新、神戸海洋博物館と川崎重工のカワサキワールドを見学しました。緻密な船の模型、実物大の新幹線、最先端工業ロボットやジェットスキーの体験型マシンなど、利用者の皆さんの興味がある物が多かったようで、皆さんの笑顔が印象的でした。考え、楽しい社会見学になり、とても良かったと思います。



しゅうろうがた いとう いくこ
就労B型 伊東 郁子